

===== 2010. 2. 10

NPO 法人東京高次脳機能障害協議会 —— <http://www.brain-tkk.com/>

T | K | K | メ | ル | マ | ガ | vol. 13

.....

—加盟団体の皆さん、その他の方も大集合、2月28日に交流会開催—

～目次～

1. T K K活動
2. 関連団体の活動
3. 行政等の活動
4. メディアでの報道

.....

【1】TKK活動

**

● 理事会等

理事会、1月18日夜、新宿区大久保地区センター

- ・障がい者福祉制度改革に関連しての考え方、日本脳外傷友の会等、他団体とのあり方について
- ・次年度活動の企画検討
- ・次年度の会費、役員等について
- ・2月28日家族交流会の内容について

● 家族相談交流会、12月9日・1月13日午後、都身障、両日で8名の方が参加しました

====1月13日の家族相談交流会を見学させて戴きました。私は板橋区で高次脳機能障害者のピアカウンセリングをサポートしており、今回の見学をお願いいたしました。大変勉強になりました。

来談者4名の方の立場は、母、妻、妻、当事者でした。相談に当たられたのは細身(み)理事長、池田理事、太田理事、高橋理事の4人で、立場は、母、母、母、夫。

都身障の丸山さんと高橋理事の奥様の見守る中、理事さん達の自己紹介から始まりました。来談者の自己紹介に移ると、理事さん達は手際よく来談者が心配の中核に的を絞っていけるように話を引き出します。そして、来談者の二巡目、三巡目と話が進む中、「交通事故の場合、医療費は保険会社に払わせるのではなく、健康保険を使って、自己負担分は支払っておいた方が先々有利」とか「いずれにしても、2年先に障害の再認定があるのだから、今の状態で手帳を取得して、一日も早くサービスにつなげた方が良い」とかの適切なアドバイスもありました。

来談者のお一人の「医師に『よくなりますよ』と言われる度に『治らないんだ』とってしまう」という言葉は重く響きましたが、この相談会で、歩まれるべき道筋が見えてきて、次に成さなければならないことへ、自信をもって、一步、歩みを進められるのではないかと拝察しました。

TKKの理事さん達の層の厚さと言うか、実践者の実力の凄さを垣間見た思いでした。

=== 中途障害をもつ人のデイサービスをつくろう会 本山千恵子様

- ・家族相談交流会は3月10日にも開催しますので、この場を活用ください。

http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=36

●「スウェーデンの脳損傷者福祉事情視察報告会」を12月6日に開催

100名以上の参加者を得て報告会を開催しました。

日本総合研究所理事の湯元健治氏による「スウェーデン福祉モデルの核心を学ぶ～安心確保と活力の両立」の講演に引き続き、視察メンバーが「見たこと・聞いたこと・言いたいこと！」と題して熱く語りました。

本視察報告書の紹介および販売は次のページから、

http://www.brain-tkk.com/sympo/sympo_20100201.html

==== 「私はスウェーデンの福祉に大変興味があり、1997年以来、6回も訪問しているのですが、最近やっとスウェーデン福祉の本質が分かってきました。福祉の対象になる、障害者や高齢者に対する、きちんとした「哲学」がまず前提にあるのですが、その考え方を社会制度の中に有効な仕方を実現する方法をとて上手に身につけているのがスウェーデンなのです。出来上がった制度をマネするのではなく、福祉哲学の実践化の方法とか政治合意にいたる過程とかに真に学ぶべきところがあると思います。==== 参加者の感想より

○「ボランティア（支援者）養成講座-5-&TKK 家族の相談交流会」

2月28日（日）13:00～17:15、日本財団ビルにて

<第1部ボランティア（支援者）養成講座-5->

特別講演「高次脳機能障害者支援-これまでとこれから」

講師：中島 八十一氏（国リハ学院長）

体験報告「当事者・家族の思いと実情」

報告者1：青木政美氏（ハイリハ東京当事者）

報告者2：板野遵三郎氏（脳外傷友の会ナナ東京地区会家族）

<第2部 TKK 家族の相談交流会>

TKK 加盟の家族会が集合。他の会の活動を理解することによって、各々の会の充実を図ります。また、共通の課題を話し合う中で、情報の共有、相談支援スキルの向上を目指します。

詳細・申込みは、

http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=39

【2】関連団体等の活動

●高次脳機能障害者生活実態調査報告書が平成21年12月に刊行される

編集：高次脳機能障害者生活実態調査実行委員会
発行：NPO 法人日本脳外傷友の会

○「高次脳機能障害者と家族の会」交流会、勉強会のご案内

3月に都内各地で行います。会員以外の方もご参加ください。

詳細は：

http://www.brain-tkk.com/index/show_board.php?boardAct=view&readNum=129

【3】行政等の活動

●港区障害者週間記念事業

講演会：「当たり前で就労できる仕組みづくり・バリアフリーの実現」
平成21年11月30日午後、港区役所 大会議室

基調講演 「経済学の視点からみた障害者の自立」
中島 隆信（慶応大学商学部教授）

パネリストとして、高次脳機能障害を代表して細見理事長が参加しました

●内閣府の障害者週間・連続セミナー、12月9日、青山ウィメンズプラザ、

講演「脳損傷による若年の障害者～マザーチャートでみる『脳損傷後』」
あいネット（「脳損傷団体しなの」を改編）宮下静香氏他

詳細は、<http://www17.plala.or.jp/jakunen-s/news.html>

●区西北部（豊島・北・板橋・練馬）「第2回地域ネットワーク連絡会」

12月18日夜、豊島区立生活産業プラザ

- ・高次脳機能障害リハビリテーションの連携について

東京都立大塚病院 リハビリテーション科 菅原秀和医長

- ・各医療機関・各自治体における在宅生活を進めるための取り組み状況についての報告

==== 今回出席していて印象深かったことは、取り組み状況や支援の実情が、この地域の中でも区によって非常な格差があることが明みになったことです。この地域の急性期、回復期病院から退院させて在宅に戻す時、患者が居住する区によって、福祉との連携、在宅支援に差があるので困るとのこと。在宅に戻す時、患者さんが豊島・北・板橋区在住ならば、ほっとするが、練馬区だった場合困惑する。それほど高次脳機能障害支援が特に遅れていると、名指しされていた。練馬区行政の高次脳機能障害に関する福祉施策の奮起を願うばかりである！

==== 細見

●平成21年度 第3回 高次脳機能障害者相談支援研修会

1月14日午後、東京都社会福祉保健医療研修センター

テーマ「高次脳機能障害者の就労支援を考える」

講演1「高次脳機能障害者の職業的課題～企業からの相談事例をもとに～」
東京障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー 松原孝恵氏

講演2「職業準備性を高める取り組み その有用性と課題」

東京都心身障害者福祉センター 就労支援係長上野伸子氏

実践報告「高次脳機能障害者の雇用就労支援例」

話題提供①：世田谷区玉川総合支所保健福祉課

障害支援担当ケースワーカー林英治氏

話題提供②：葛飾区就労支援センター

就労支援専門員 木滑見菜子 氏

==== 東京障害者職業センターからは企業からの相談事例をもとに高次脳機能障害者の職業的課題について、復職事例をもとにお話が聞けました。復職転職する場合、本人および家族が受傷前とのギャップをどう理解しているかが大きなカギとなると実感しました。

次に都心障からは職業準備性を高める取り組みとして、都心障の「就労準備支援プログラム」の説明がありました。職業評価を受け、受傷前との違いを理解し、時間をかけて就労を目指すことが大事になるということでした。

世田谷区からは障害支援担当のケースワーカーさんからは、スーパーに就職された方のお話、葛飾区での障害者就労支援の取り組みについてのお話を聞きました。

就労が続くには継続してジョブコーチなどの支援が必要であり、企業側の理解があることも必須条件であるということ、関わっている人全員の共通理解していく必要があります。 ===== 太田

●平成21年度 東京都相談支援従事者初任者研修会、1月21日

テーマ「障害者の生活ニーズについて」

==== 視聴覚、肢体不自由、知的、内部、高次脳機能、精神障害等、障害別の報告があった。高次脳機能障害部門では、ハイリハ東京の青木さん、サークルエコーの谷口さん、そしてTKK当事者とその家族の実情とニーズについて私、細見がパネリストとして報告しました。 === 細見

●平成21年度 第2回 高次脳機能障害専門的リハビリテーション充実のための検討委員会、1月26日、東京都都庁本庁舎

議題・高次脳機能障害者に対するリハビリテーションの実態調査2（聞き取り調査）の中間報告

・平成22年度の高次脳機能障害者支援普及事業（専門的リハビリテーションの充実）について

委員長、首都大学東京渡邊修先生、副委員長、JR東京病院の田中清和先生、国立精神神経センター、リハビリテーション病院、東京都医師会他、巾広い分野の委員により構成。家族会代表として今井副理事長が委員として参加。

=====

- ・個別のリハビリ、大集団又は小集団でのリハビリ、退院後の生活を安定させるための福祉センターの役割など課題を見付ける。
- ・個人を支えるしくみ、集団で支えるしくみの療法が大切。医療的評価をしながらすすめると効果的。杉並や世田谷だけでなく、他の地域に広まるのが大切。
- ・その人の症状や状態を正確に伝える仕組みが必要。
- ・診療報酬、リハビリ制限の問題。退院後の施設など支援資源が少ない。既存施設の掘起こし
- ・国のモデル事業の結果～啓発～受け皿づくり～振り分け、受け皿：在宅9割（その内、福祉的就労1割）、就労1割、振り分け：どこにも行き場のない人については？ 等々が検討されました。 ===== 細見

●講演会「高次脳機能障害を理解する～私たちにできること」(東京)

1月23日午後、有楽町朝日ホール、朝日新聞厚生文化事業団主催、TKK 後援

<http://www.asahi-welfare.or.jp/info/2009/toukyou/koujinou.html>

===== 定員600名に対してそれをはるかに超える申し込みがあったと
 のことで、この障害に関して過去最大の講演会でした。社会の関心が高まっ
 ていると感じましたが、このイベントによって理解がより深まったと思
 います。

内容がバラエティーに富んでいて、あっという間に3時間が過ぎました。
 私が一番注目したのは、息子を当事者に持つ父親という、私と同じ立場の納
 谷敦夫先生の講演『地域での支援を考える』でした。
 家族としての思い、心境を率直にお話する姿に感銘を受けるとともに、精
 神保健医としてのお立場からの貴重なご意見は非常に参考になりました。
 また関西人としての巧みな話術にも敬服いたしました。
 堺脳損傷協会、なやクリニックの活動内容の一端をお聞きし感心するととも
 に、TKKを含めた各種団体でやるべきこと、やれることはまだまだたくさん
 ある、という気持ちになりました。 ===== 矢野

●北多摩北部地域(清瀬、小平、西東京、東久留米、東村山)リハビリテーショ
 ン支援事業 市民公開講座、1月23日午後、清瀬市生涯学習センター

- ・「高次脳機能障害って何だろう？」パンフレット紹介
- ・講演：渡邊修氏、家族会から：今井雅子氏

○区東部地域リハビリテーション連絡協議会公開講座、2月13日(土)午後2時～、
 曳舟文化センターホール

- ・講演『生活を支える高次脳機能リハビリテーション』
 国立成育医療センターリハビリテーション科 医長 橋本圭司氏
- ・区東部地区の現状と取組, 対応策等

墨田区	保健計画課	長宗里江主査他
江東区	障害者福祉課	山岸了課長
江戸川区	保健予防課	大地まさ代課長

○区中央部高次脳機能障害者支援地域ネットワーク連絡会

2月17日(水) 18時30分～、港区高輪区民センター集会室

- 議題
- ・医療サイドからの支援の拡がり
 - ・在宅生活を進めるための取り組み

○区東北部地域(足立・荒川・葛飾)リハビリテーション支援連絡会

2月25日、東京芸術センター21階「天空劇場」

○高次脳機能障害支援普及事業 平成21年度第2回支援拠点機関等全国連絡協議会及び公開シンポジウム、2月26日(金)10:00～、三田共用会議所

- ・午前:全国連絡協議会
高次脳機能障害者地域生活支援推進に関する全体会議
- ・午後:公開シンポジウム

○葛飾区地域活動支援センター

2月27日 高次脳機能障害者ミニデイサービス、ウェルピアかつしか

○杉並区高次脳機能障害関係機関連絡会 「語り合おう!高次脳機能障害」

2月27日(土)午後、杉並保健所 地下講堂

高次脳機能障害について、当事者からの体験談、家族のお話、懇談会

○第6回高次脳機能障害者相談支援体制連携調整委員会

3月8日(月)18:00～、於:東京都心身障害者福センター会議室

- 議題:
- ・平成21年度における支援普及事業の実績報告について
 - ・平成22年度における支援普及事業の実施予定について

○第7回多摩高次脳機能障害研究会 3月11日19:00～、国分寺いずみホール

- ・「精神科医からみた高次脳機能障害」
埼玉医科大学総合医療センター教授 堀川 直史先生
- ・「各医療圏における取り組みの現状報告」
西多摩、南多摩、北多摩北部、北多摩西部、北多摩南部

【4】メディアでの報道

∞ ** ∞

●毎日新聞 平成21年12月13日東京朝刊

「軽度外傷性脳損傷(MTBI):国内初のWHO基準調査」

<http://mainichi.jp/universalon/clipping/archive/news/2009/12/13/20091213ddm001040052000c.html>